

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(五大石油会社の業績比較:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html> )

(石油:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html> )

マイライブラリー:0377

(注)本稿は2016年5月10日から17日まで5回に分けて「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2016.5.21  
前田 高行

### 縮み続ける売上・利益・設備投資:五大国際石油企業2016年1-3月期決算速報

<u>目次</u>	<u>頁</u>
1. 五社の1-3月期業績比較	
(1) 売上高	2
(2) 利益	2
(3) 売上高利益率	3
(4) 設備投資	4
(5) 原油・ガス生産量	4
2. 2015年第1四半期以降の四半期別業績の推移	
(1) 売上高の推移	5
(2) 利益の推移	5
(3) 設備投資の推移	7

スーパーメジャーと呼ばれる五大国際石油企業(ExxonMobil、Shell、BP、Total 及び Chevron)の1-3月期決算が相次いで発表された。ここでは売上高、利益、売上高利益率、設備投資および石油・天然ガス合計生産量の五項目について各社の業績を横並びで比較するとともに各社の四半期決算の推移を検証する。

決算の詳細は以下の各社のホームページを参照されたい。

ExxonMobil:

<http://news.exxonmobil.com/press-release/exxonmobil-earns-18-billion-first-quarter-2016>

Shell:

<http://www.shell.com/investors/financial-reporting/quarterly-results/2016/q1-2016.html>

BP:

<http://www.bp.com/en/global/corporate/press/press-releases/first-quarter-2016-results.html>

Total:

<http://www.total.com/en/media/news/press-releases/first-quarter-2016-results>

Chevron:

<https://www.chevron.com/stories/chevron-reports-first-quarter-loss-of-725-million>

なお前期(2015年10-12月期)及び2008年から2015年までの通年の業績比較は下記レポートを参照されたい。

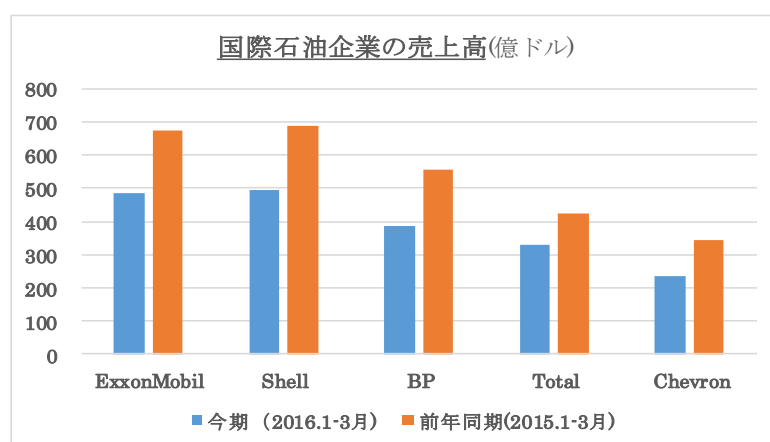
<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/0372OilMajors2015.pdf>

## 1. 五社の1-3月期業績比較 (末尾表 1-D-4-22 参照)

五社を横並びで比較すると売上高では Shell がトップである。しかし利益および生産量の両部門では ExxonMobil がトップであり、Shell と Chevron は利益面で欠損を出している。売上高利益率は Total がトップであり、また設備投資では Chevron が Shell および ExxonMobil を上回り五社の中では最も多い。

(売り上げは軒並み2~3割減!)

### (1) 売上高



2016年1-3月の売上高は5社ともに前年同期に比べ2割乃至3割の大幅な減少であった。これは言うまでもなく原油価格が暴落したためである。因みにShellの決算資料で見ると、昨年第1四半期はバレル当たり平均46ドルであったものが、今期は29ドルと半値近くになっている。2011年あるいは2012年の年

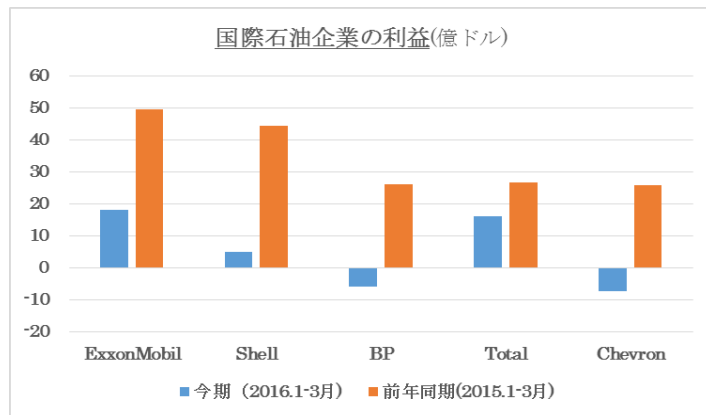
間平均価格は100ドルを超えており価格はピーク時の4分の1になっている。原油価格の下落がそのまま各社の売上高減少に反映されたと言えよう。

各社の売上高および対前年同期の減少幅は、ExxonMobil が487億ドル(28%減)、Shell497億ドル(28%減)、BP 385億ドル(31%減)、Total 328億ドル(22%減)、Chevron 236億ドル(32%減)であった。

### (2) 利益

ExxonMobil の期間利益は18億ドル、前年同期(49億ドル)の6割減である。ExxonMobil に次いで利益が多いのは Total の16億ドルであり、同社の場合は前年同期比で4割減である。Shell は2

社よりもさらに利益が低く一桁の4.8億ドルで前年同期の10分の1近くにとどまっている。BP と Chevron はともに2期連続の欠損である。今期の欠損額は Chevron が7億ドルとBP の6億ドルを上回っている。



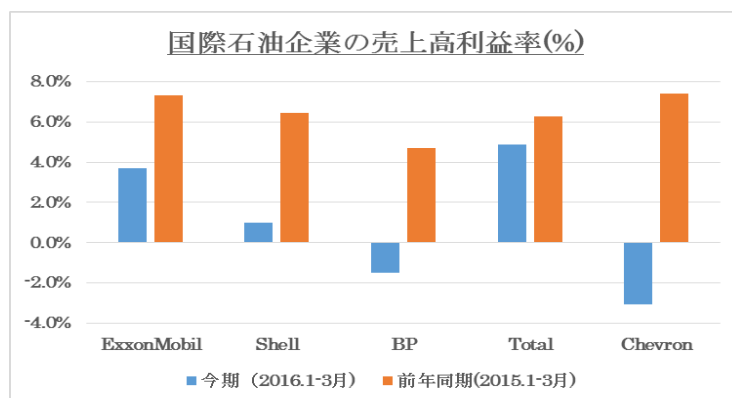
利益を上流部門(石油・天然ガスの開発生産分野)と下流部門(石油精製および製品販売分野)で比較すると、Shell は上流・下流部門の利益がそれぞれ14億ドル、17億ドルであり下流部門の利益が上流部門を若干上回っている。(なお冒頭の各社の利益には石油化学製品部門あるいはその他の損益を含んでいるため上・下流部門の利益の合計

額とは一致しない。以下の各社も同様)

ExxonMobil は上流部門が0.8億ドルの欠損であったのに対して下流部門は9.1億ドルの利益を計上している。Total も下流部門の利益(11億ドル)が上流部門の利益(5億ドル)の2倍以上である。さらにBP と Chevron は上流部門がそれぞれマイナス12億ドル、15億ドルの損失を計上しており、逆に下流部門は19億ドルおよび7億ドルの黒字である。

このように5社はすべて下流部門の利益が上流部門のそれを上回っており、Shell 以外の4社は下流部門が上流部門を支えている状況である。国際石油企業の利益構造はこれまで利益の大半を原油・天然ガスの生産(上流部門)で稼ぎ、精製、石油化学など(下流部門)の低収益を補うという構図であったが、1昨年以降の原油価格の大幅な下落により収益構造が様変わりしている。即ち上流部門の利益が急減する一方、精製、石油化学部門は原料の原油・天然ガス価格が急落したため利益の出る体質に変化したのである。

### (3) 売上高利益率

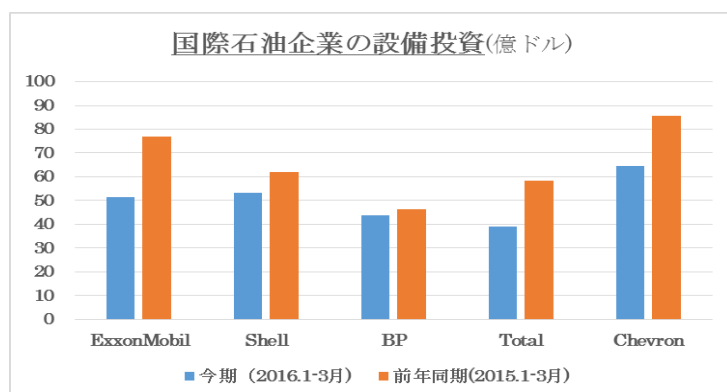


売上高利益率は Total が4.9%と最も高く、ExxonMobil が3.7%で続いている。Shell の利益率は1%にとどまりBP 及び Chevron はマイナス(それぞれ-1.5%、-3.1%)である。これに対して前年同期の各社の利益率は Chevron 7.4%、ExxonMobil 7.3%、Shell 6.4%、Total 6.3%、BP 4.7%であり、BP

以外は5%以上の利益率を出していた。これら5社は好調時には10%台と言う高い利益率を誇っ

ていたこともあるが、近年各社の利益率は急速に悪化している。

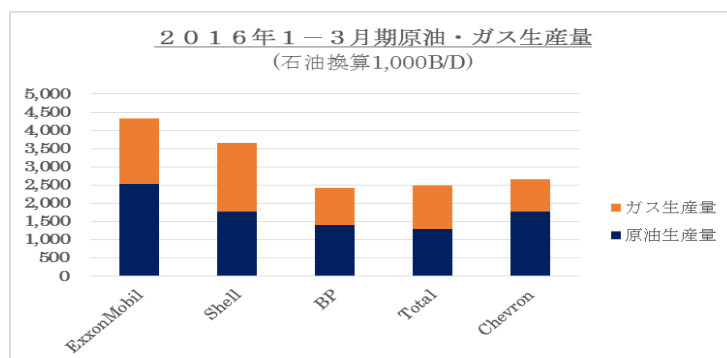
#### (4) 設備投資



2016年1-3月期の各社の設備投資額は Chevron が65億ドルと最も多く、Shell が53億ドルでこれに続いている。第3位の ExxonMobil の投資額は51億ドルである。また BP は44億ドル、Total は最も少ない39億ドルにとどまっている。前年同期と比べると各社とも減少しており、特に ExxonMobil および Total は3分の2程

度にとどまっており、Chevron も25%減である。低迷する石油市況を受けて各社とも設備投資には消極的な姿勢が見える。

#### (5) 原油・ガス生産量



今年1-3月の原油生産量はExxonMobilが平均日産量254万バレル(以下 B/D)で5社の中では最も多い。その他の4社は Shell と Chevron が同じ171万 B/D、BP 141万 B/D で Total は ExxonMobil のほぼ2分の1の129万 B/D で5社の中では最も少ない。ExxonMobil は世界各地で万遍

なく原油生産をおこなっており他社を圧倒している。前年同期と比較すると ExxonMobil、Shell および BP は10%以上伸びており、Total は4%の増加であった。これに対して Chevron は前年同期の生産量180万 B/D を下回っている。原油価格が低迷する中で米国内におけるシェールオイルが主力の同社は減産を余儀なくされているようである。

天然ガスの生産量は Shell と ExxonMobil がそろって100億立方フィート(以下 cfd)を超える生産を誇っている。残る3社は Total64億 cfd、BP59億 cfd、Chevron53億 cfd と上位2社の5乃至6割前後である。前年同期に比べると Shell は16%増と大幅に伸びた一方、ExxonMobil は9%の減少となった。その他3社も Total、Chevron は微増、BP は微減となっている。

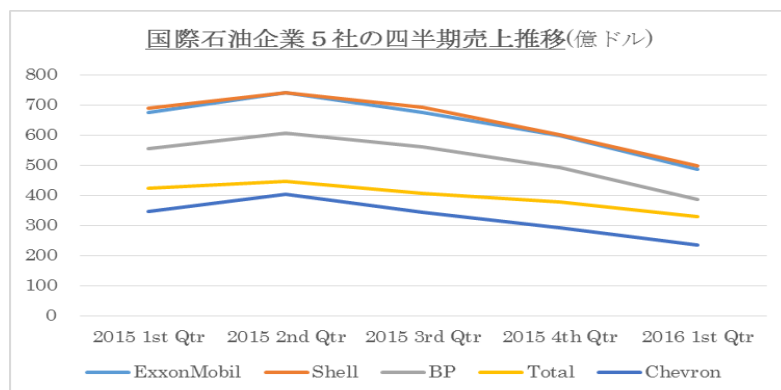
天然ガスを石油に換算した原油・天然ガスの合計生産量では ExxonMobil は433万 B/D でこれに次ぐのが Shell の366万 B/D である。その他の3社はいずれも250万 B/D 前後である。石油と天然ガスの比率を見ると、ExxonMobil は石油59%、天然ガス41%であり石油の比率が高い。BP、Total および Chevron3社も同様に原油生産量が天然ガス生産量を上回っており、特に Chevron は石油67%対天然ガス33%と石油が天然ガスの2倍以上である。これに対して Shell は原油生産量

が49%、ガス生産量が51%と4社の中で唯一天然ガスが原油を上回っている。Shell は今年初め英国の BG を買収しており、重点を天然ガスにシフトしつつある。

## 2. 2015年第1四半期以降の四半期別業績の推移

五社の売上高、利益(全体、上流部門および下流部門)、設備投資に関する2015年1-3月期以降今期までの四半期ごとの業績推移は以下の通りである。

### (1) 売上高の推移



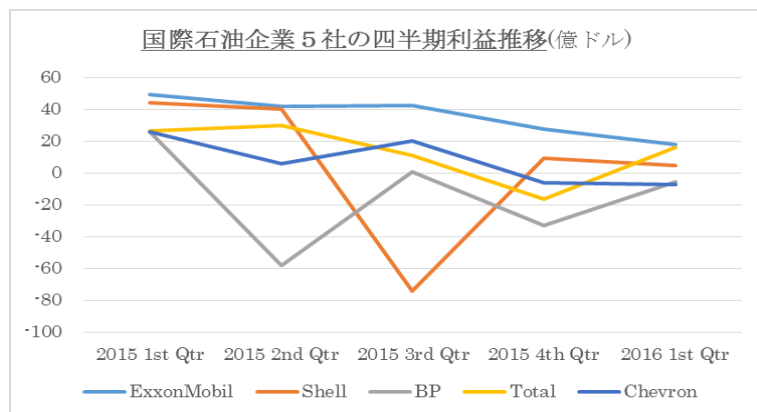
2015年第2四半期をピークとして5社の売上高は4期連続で減少している。各社の2015年第2四半期売上高と今年第1四半期の売上高を比べると、ExxonMobil は741億ドル→487億ドル、Shell は740億ドル→497億ドル、BP606億ドル→385億ドル、Total447億ドル→328億ドル、Chevron404億ドル→236億ドルである。

減少幅が最も大きい Chevron は42%減、最も少ない Total でも27%減であり、ExxonMobil、Shell、BP3社も30%台の減少である。

これは言うまでもなくこの間に原油価格が大幅に下落したためであり、Shell の決算資料でこの間の四半期平均原油価格の推移を見ると55.84ドル/バレル(2015年第2四半期)→45.22ドル/バレル(同第3四半期)→38.81ドル/バレル(同第4四半期)→29.49ドル/バレル(2016年第1四半期)となっており、原油価格はこの間に半値近くになっている。各社は販売価格の落ち込みを生産量の増加でカバーしようと努力し(前項「原油・ガス生産量」参照)、売上高を価格の下落幅以下に抑えたが売り上げの大幅な落ち込みは避けられなかった。

### (2) 利益の推移

#### (2-1) 全体利益水準の推移



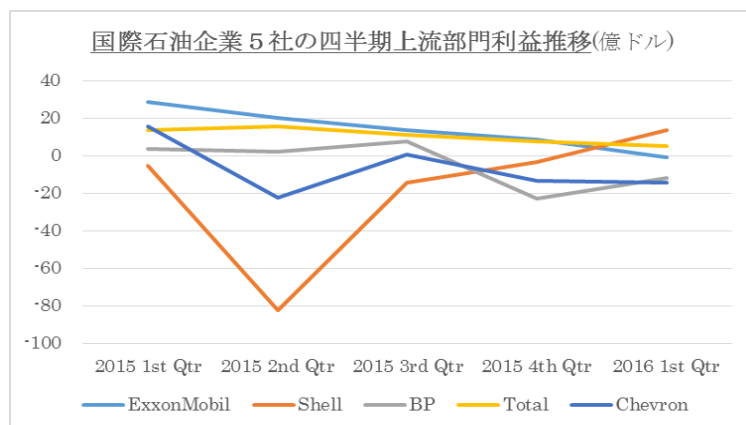
過去1年間の四半期ごとの利益水準は各社によって異なるものの、全体を通してみると下落傾向にあると言って良く、また ExxonMobil 以外の4社は1期またはそれ以上の複数期で欠損を出している。2015年第1四半期は ExxonMobil の49億ドルを筆頭に5社ともに利益を計上したが、ExxonMobil のその後の

利益は減少を続け今期は18億ドルにとどまっている。

ExxonMobil と同程度の売上規模である Shell は第3四半期に74億ドルと言う大幅な欠損を記録している。その後業績は回復したが利益水準は一桁台(第4四半期:9億ドルおよび今期:5億ドル)に低迷しており、1年間を通じると利益の凋落傾向が止まらない。

BP は5期のうち3期がマイナスであり、特に最近の2期は連続して欠損である。Chevron も同様に2期連続の赤字である。Total は ExxonMobil を除く4社と比較すると増減幅は小さいが、利益は低迷状況が続いている。

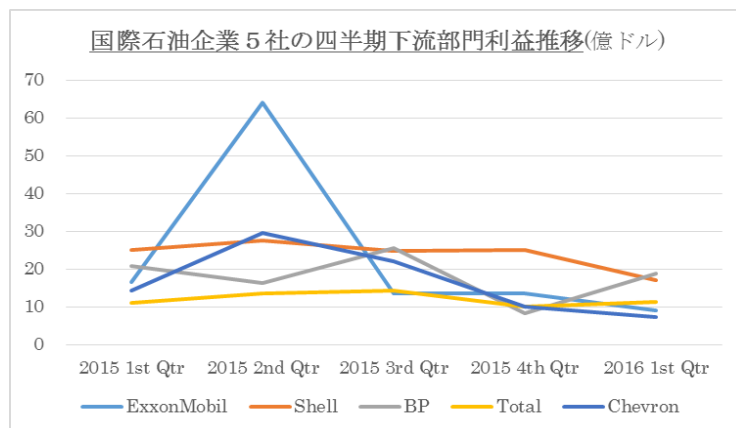
### (2-2) 上流部門



5社の上流部門の利益はいずれも下流部門の利益に比べて見劣りし、前期(2015年第4四半期)および今期は5社中3社が欠損を出している。ExxonMobil も前期までは利益を計上していたが今期はマイナスに転じている。Shell は昨年は全四半期を通じてマイナス決算であり、今期漸く利益を計上している。BP 及び

Chevron も前期および今期の2期連続で10乃至20億ドル強の巨額の損失を計上している。

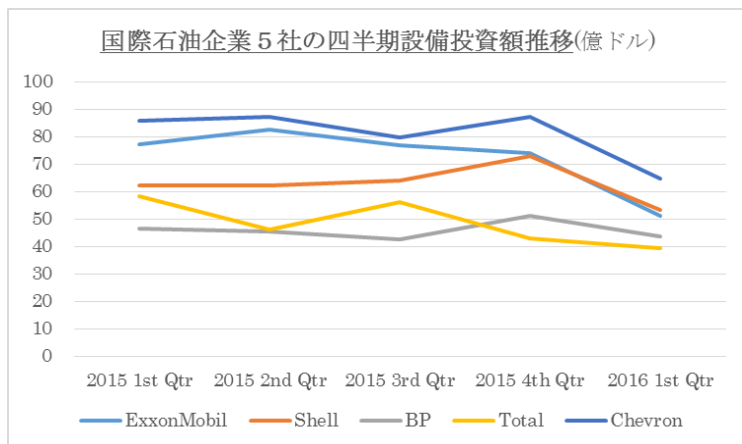
### (2-3) 下流部門



下流部門は全社が年間を通じて利益を出している。特に ExxonMobil は昨年第2四半期に上流部門の3倍以上の64億ドルの利益を上げている。Shell の場合は昨年は年間を通じて25億ドル前後の安定した利益を計上しており、今期も17億ドルの利益であった。Total もコンスタントに10億ドル台前半の利益水準を維持して

いる。各社とも原料となる原油の価格が年間を通じて低く推移したことにより下流部門の利益を確保している。

### (3)設備投資の推移



5社の四半期の設備投資額は100億ドルを下回る低い水準が続いており、また期を追うごとに投資額が減少する傾向にある。ExxonMobil の場合は昨年1-3月期の77億ドルに対して今年1-3月期は34%減の51億ドルにとどまっている。Totalも同様に58億ドルから39億ドルの33%減である。BP の設備投資は各期の変動が少ないが、投資規模は

40億ドル台と5社の中では最も少ない。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行

〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601

Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642

E-mail; maedat@r6.dion.ne.jp

## 2016年1-3月期国際石油企業の業績

年		ExxonMobil	Shell	BP	Total	Chevron
売上高(百万ドル)	2016年1-3月	48,707	49,732	38,512	32,841	23,553
	前年同期	67,618	68,846	55,519	42,313	34,558
	増減(%)	-28.0%	-27.8%	-30.6%	-22.4%	-31.8%
利益(百万ドル)	2016年1-3月	1,810	484	▲ 583	1,606	▲ 725
	前年同期	4,940	4,430	2,602	2,663	2,567
	増減(%)	-63.4%	-89.1%	-122.4%	-39.7%	-128.2%
売上高利益率(%)	2016年1-3月	3.7%	1.0%	-1.5%	4.9%	-3.1%
	前年同期	7.3%	6.4%	4.7%	6.3%	7.4%
設備投資(百万ドル)	2016年1-3月	5,127	5,324	4,381	3,923	6,469
	前年同期	7,704	6,215	4,636	5,825	8,583
	増減(%)	-33.5%	-14.3%	-5.5%	-32.7%	-24.6%
原油生産量(1,000B/D)	2016年1-3月	2,538	1,781	1,409	1,286	1,781
	前年同期	2,277	1,542	1,258	1,240	1,801
	増減(%)	11.5%	15.5%	12.0%	3.7%	-1.1%
ガス生産量(100万 cfd)	2016年1-3月	10,724	10,905	5,910	6,441	5,310
	前年同期	11,828	9,421	6,088	6,312	5,283
	増減(%)	-9.3%	15.8%	-2.9%	2.0%	0.5%
同石油換算(1,000B/D)	2016年1-3月	1,787	1,880	1,019	1,193	885
	前年同期	1,971	1,624	1,049	1,155	880
	増減(%)	-9.3%	15.8%	-2.9%	3.3%	0.6%
原油・ガス合計生産量 (石油換算 1,000B/D)	2016年1-3月	4,325	3,661	2,428	2,479	2,666
	前年同期	4,248	3,166	2,307	2,395	2,681
	増減(%)	1.8%	15.6%	5.2%	3.5%	-0.6%